

新医療センター整備基本計画案パブリックコメントでの意見

- ◆ 募集期間 令和7年5月2日（金）～6月2日（月）
- ◆ 意見者数、件数 37人、103件
- ◆ 提出者の居住地 水沢28人、江刺3人、胆沢3人、市外3人

- ◆ 分類別集計（意見の要旨により分類し集計したもの）

（１）施設の機能に関するもの

No.	意見の概要	件数
1	民間で足りないところを補ってほしい。	2
2	産科設置の努力をしてほしい。	2
3	時代に即した病院への転換は必要不可欠。	2
4	在宅医療の必要性高い。介護と併せて訪問診療等の分野の強化を図るべき。	2
5	総合診療科では問題箇所の特定や専門医の紹介をしてもらえると良い。	1
6	小児科、婦人科の特殊専門病院にすべき。	1
7	診療科を絞り込まず医師確保の状況に併せ多様な科を新設する努力が必要。	1
計		11

（２）施設の運営や体制に関するもの

No.	意見の概要	件数
1	県立病院の統廃合を踏まえた検討、県立病院との統合や連携を検討すべき。	3
2	医師確保に最大の努力を。	3
3	市立医療施設の集約や統合等の検討が必要。	2
4	新医療センター開所後の運営体制を議論すべき。	1
5	地域医療連携推進法人を設置してはどうか。	1
6	腹膜透析実施に必要な訪問看護人材確保が困難	1
7	緩和ケア病棟の検討もすべき。	1
計		12

（３）施設の規模や整備場所に関するもの

No.	意見の概要	件数
1	水沢公園への整備を望む。	2
2	最小限の規模に留め改築してはどうか。	1
3	県立胆沢病院と近すぎる。分散配置すべき。	1
4	現計画の規模では訪問看護の機能強化は困難。	1
5	緊急時にも対応可能な十分な病床を確保してほしい。80床では少ないのでは。	1
6	整備場所に反対。陸上競技場は残すべき。	1
計		7

(4) 計画を疑問視又は不安視するもの

No.	意見の概要	件数
1	必要性や財政面など現実的な計画にすべき。	4
2	医療・保健・福祉の連携に一体整備は必須か？	2
3	耐震化工事ができない明確な理由を示すべき。	1
4	資金収支見通しは最悪のケースで試算すべき。	1
5	医療機器等の移設費用の詳細を示すべき。	1
6	消滅可能性都市である当市に医師は来るのか。	1
7	地域包括医療病棟は施設基準が厳しく実現困難	1
計		11

(5) 計画策定の進め方に関するもの

No.	意見の概要	件数
1	救急対応の継続など市立病院必要。早期に実現してほしい。	24
2	行政、医療関係者、市民も交え協議が必要	4
3	医師会や有識者意見等の意見を踏まえて検討すべき。	4
4	計画は病院が主体となり作り上げるべき	1
5	マイナス面も含め市民に真の説明をすべき。	1
6	医師会の先生方には対論だけでなく前向きなアドバイスを期待している。	1
7	医師会の意見を詳しく知りたい	1
8	市は丁寧な説明をすると言っているが何が丁寧なのか。	1
9	水沢公園周辺住民に公園再整備計画について理解を深めるための説明をすべき。	1
計		38

(6) その他

No.	意見の概要	件数
1	将来も民間医療機関が維持されるか不安。	2
2	奥州市モデルを現状に即し再検討すべき。	1
3	在宅医療の具体の協議を即やるべき。	1
4	各機能の連携強化のためプロジェクトチームによりその課題に取り組んでほしい。	1
5	新医療センター整備投資は、深堀したキャッシュフロー計算書の検討が必要	1
6	奥州市自体で複式簿記を採用し、財務諸表を作成すべき。	1
7	市街地再整備には相当額の財政出動が予測される	1
8	今後、全ての運営事業の外部委託をやめてほしい。	1
9	将来、人口が減っても市税は減らないとの予測だが正確か。	1
10	安心した生活が送れるよう市民に寄り添った患者優先の病院を。	1

No.	意見の概要	件数
11	守りの行政ばかりではなく積極的施策も必要ではないか。未来志向。	1
12	子育て支援、産後ケアは既存施設の活用を。	1
13	水沢病院の職員、患者の命を優先し、他医療機関への転院など対応できるのでは。	1
14	プレコンセプションケアを市民に分かるように説明してほしい。	1
15	医療を金儲け、予算制約で考えないでほしい。	1
16	東北医科薬科大学との連携は期待されているということではないか。	1
17	公立病院の勤務医である県立病院の医師が建設に反対しているのが非常に残念。	1
18	狭い駐車場は受診意欲の低下を招くのではないか。	1
19	多くの女性が建設に賛成しているのは将来産科設置が叶うと誤解しているから。	1
20	江刺総合支所の空きフロアを活用し地域医療連携システムを設置してはどうか。	1
21	計画通り実現出来なかった場合、賛成者はどのような責任を取るのか。	1
22	市民説明会等で意見統一が図れなかった最大の理由は、市長が説明会を欠席したことで市民の不信を招いたことにあるのではないか。	1
23	反対意見は少数なら統計的に無視しても良いという市長の発言の真意を伺いたい。	1
計		24
総 計		103

◆ 意見の一覧（受付順）

No.	意見（概要）
1-(1)	<p>診療科は、圏域内で不足している科、近隣医療圏にない科、民間にない科を。</p> <p>【内容】</p> <p>①奥州市を含む周辺の専門別（総合診療科、内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経、歯科、その他）の医師数と、それに対する患者の割合は？</p> <p>②不足診療科目ならOK</p> <p>③他地区から逆に患者が来られるような診療科が欲しい（産婦人科の様に奥州市以外の地区に行かなければならない状況を無くすとか、地元の民間医院に無い診療科を設けるとか）</p>
1-(2)	<p>救急搬送時、民間医院や県立病院よりも使い易い病院だと存在価値が高まるのでは。</p> <p>【内容】救急搬送の時に民間医院、県立病院よりも使い易い病院だと存在価値が高まるのではないか。</p>
1-(3)	<p>総合診療科では、専門医の紹介や受診すべき診療科を決定してもらえると存在価値が高まるのではないか。</p> <p>【内容】体が不調の時、具合が悪くなった時、自己判断で診療科目（医院）を勝手に決める事が多いが、総合診療科を設け専門医を紹介、又は診療科を決めて貰えると存在価値が高まるのではないか。</p>
1-(4)	<p>苦しい経営状況で建設しても絵に描いた餅。岩手医大、東北医科薬科大の地域枠活用を。</p> <p>【内容】市民の税負担で採算ギリギリで病院を建設しても来る医師がいなければ絵に描いた餅。岩手医大、東北医科薬科大の『地域枠活用』を上手に使えないか？</p>
1-(5)	<p>全国の事例は、好事例のみならず失敗例についても研究を。</p> <p>【内容】全国にはモデルになる病院は数多くあると思うが、悪い例も勉強になるのではないかと思うので研究してもらいたい。後藤新平の如く大風呂敷でも歴史が証明してくれる病院を望む。</p>
2	<p>市は医師会意見を「一部の反対意見」とせず、計画に反映させる責任がある。</p> <p>【内容】医師会長の中立姿勢は、医師会が特定の方向に偏ることなく、個々の意見や現場の声を尊重するための判断。</p> <p>医師会理事の約9割が現計画に反対。また、市民説明会での医師会員の発言は組織としての立場を超えて現場の実情や課題を市民に伝える必要性を感じているからこそ。</p> <p>市長や職員は、こうした現場の声を「一部の反対意見」とせず真摯に受け止め、計画に反映させる責任がある。</p>
3-(1)	<p>水沢病院の耐震化工事はなぜ不可能なのか。明確な理由を示すべき。</p> <p>【内容】水沢病院は1983年竣工であるため、建設は新耐震基準で建設していると思う。配管類は鋼管を洗浄したライニングをすとかできると思うが如何か。耐震化工事ができない明確な理由を示すべき。</p>

No.	意見（概要）
3-(2)	<p>資金収支シミュレーションは最低数値を用いたものでも試算すべき。</p> <p>【内容】試算する場合は、最低の数値で計算するべきと考える。</p> <p>奥州市での人口減少・高齢化は待ったなし進んでいる。2050年には奥州市の人口は65,000人位と半減する。そのような環境下で新医療センターは黒字化難しいのではないか。市が開示している指標は、あまりにも良いデータのみを使っており、実勢と乖離が大きいと考える。最悪数値を用いた指標でも黒字となるのか。1人の働き盛りが複数で65歳以上の高齢者を支えていく社会。この新医療センター建設が、財政破綻の前ぶれとならないとは限らないのではと、かなり心配している。結果4～5年後しか出ない。私は、破綻した夕張市の現実を見ている。ごみの収集などもなくなる。市役所職員は給与なども一時的になくなる。エネルギーがある若い住民が近隣市へ転居して老人のみが残る。</p>
3-(3)	<p>建設費用が増加することはないのか。</p> <p>【内容】水沢中学校の建設でも、想定外の湧水のために工事費が増額している。今後、整備費用が150億円を超えることも想定されるのではないか</p>
3-(4)	<p>県立病院と近すぎる。水沢病院を撤去し、まごころ病院と縮小統合できないか</p> <p>【内容】既存の水沢病院を廃棄（撤去）し、まごころ病院へ縮小統合はできないのか。県立病院と分散配置する。県立病院と市立病院が近すぎると思う。</p>
3-(5)	<p>消滅可能性都市である奥州市の病院に医師が来るのか。</p> <p>【内容】厚生労働省の公立病院の統廃合リストに載っていること。消滅自治体などにも奥州市が載っている。そのような自治体の病院に医師は来るのか。</p>
3-(6)	<p>医療機器等の移設費用の詳細を開示すべき。</p> <p>【内容】最新MRIなどの装置類の新医療センターへ移設する費用等も折り込み済みか。移設費用も細かく開示すべき。</p>
4-(1)	<p>マイナス面含め市民に真の説明をすべき。</p> <p>【内容】市民への説明が不十分。マイナス面も含め細部に渡る真の説明を。</p>
4-(2)	<p>医師会意見に聞く耳を持ってくれず、納得のいく回答もない。非常に残念。</p> <p>【内容】医師会としては建設に反対しているのではない。これまでの医師会意見（①医師確保、②経営面、③場所）に対し、市長は一向に聞く耳を持ってくれず、納得のいく回答が得られなかった。非常に残念。</p>
4-(3)	<p>地域医療構想を踏まえつつ集約・統合が必要。単独のダウンサイジングでは済まない。</p> <p>【内容】今後人口減少、少子高齢化により患者数が減る。このような状況に対応するため国は地域医療構想を立上げ、全国各地で余った病床を削減するため病院の集約・統合・再編を促して来た。奥州市も例外ではなく、今後集約・統合しなければならない。1つの病院のダウンサイジングだけではすむものではない。</p>
4-(4)	<p>現計画は市が作成し病院と擦り合わせたもの。本来は病院が主体となり作りあげるべき。</p> <p>【内容】この計画は医療の素人である市が作り、病院側と擦り合わせたもの。本来であれば、医療・介護情勢を鑑み、今後あるべき病院の構想を病院側で吟味し、その内容を市に提案し、財政問題も擦り合わせながら何度も協議を重ねていくべきところが、基本となる話し合いがなされていない。</p>

No.	意見（概要）
4-(5)	<p>繰入金による補填も限界があるのでは。現実的に持続可能かどうか再検討が必要 【内容】 医業収益に対する給与費比率が60%を超えると病院は閉院に追い込まれる。繰入金による赤字補填にも限界があるのではないか。病院としっかり向き合い、すぐにでも再検討に取るかかかることを望む。</p>
4-(6)	<p>在宅医療について今後具体的な協議を行うとのことだが遅すぎる。即やるべき 【内容】 在宅医療に関して今後具体的な協議を行うとのことだが遅すぎる。即やるべき事案。</p>
5-(1)	<p>医師会員の意見と奥州市モデル等を踏まえた折衷案を提案。今後は市全体での協議が必要ではないか。 【内容】 医師会員から挙げた反対意見（医師会員アンケート結果）と市計画を踏まえ以下のとおり折衷案を考えた。</p> <p>（総合水沢病院）⇒奥州水沢母子・健診・急患センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急並びに感染症病床を合わせて19床に規模を縮小。（診療所化） ・周産期、救急外来医師等が勤務。 ・公園駐車場・テニスコート・歩道、旧水沢消防署庁舎跡地等を整理のうえ建設。 ・陸上競技場は区画整理し存続。 ・テニスコートは公園内に再整備 ・駐車場は立体化、不足分は公園近隣の空き地を利用。 <p>（まごころ病院）⇒奥州胆沢まごころ病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40～60床程度に増床し、回復期、慢性期患者が入院。 ・回復期、慢性期の医師とスタッフは、水沢病院とまごころ病院から集約。 <p>（前沢診療所）⇒奥州前沢診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不足医師はまごころ病院から派遣 ・遠隔診療、医療DXを活用。 <p>（衣川診療所及び衣川歯科診療所）⇒奥州衣川診療所（医科及び歯科）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無床 ・不足医師はまごころ病院から派遣 ・遠隔診療、医療DXを活用。 <p>（直営診療所）⇒奥州江刺診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不足医師はまごころ病院から派遣 ・遠隔診療、医療DXを活用。
5-(2)	<p>地域医療奥州市モデルは、再度精査し現状に即した内容に改めて検討すべき。 【内容】 地域医療奥州市モデル及び整備基本計画で目指す内容が実現できるのであれば、何も問題はないが、当地で働く医師からの反対意見を伺うと、計画を今一度精査して、現状に即した計画を改めて検討すべきではないか。</p>
5-(3)	<p>今後は、行政や医療関係団体のみならず、市民も意見を出し合い協議が必要。 【内容】 今後の協議では、行政や医療関係者のみではなく、市民の自分自身の住む地域の医療を改めて考え、全員が一つになり、持続可能・発展可能な奥州市の医療を築き上げていけたらと考える。</p>
6-(1)	<p>水沢病院の新築移転構想が二転三転し10年も経過。速やかに建設を。 【内容】 総合水沢病院の新築移転構想が二転三転し、10年もかかったことは市民にとって大きな損失。一日も早い完成するよう願っている。</p>

No.	意見（概要）
6-(2)	<p>建設委員会を設置し完成後の運営体制を今から議論すべき。</p> <p>【内容】機構と人事を早急に決定すべき。センターの最高経営責任者であるセンター長は誰になるのか。どういう職を置くのか、診療部門責任者とそれ以外の部門の責任者を配置すべき。建設委員会を設置し、完成後の運営体制を今から議論すべき。</p>
6-(3)	<p>市民参加型の経営委員会の設置を。</p> <p>【内容】市民参加型の経営委員会の設置を求める。市民にとって有益に機能しているかどうかのチェックをする外部機関が必要。その際、弁護士や学識経験者のほか、公募の一般市民も加えてほしい。</p>
7-(1)	<p>医療と保健・福祉の連携には一体施設が必要か否か検討すべき。</p> <p>【内容】保健福祉機能の集約・強化の方針には賛同するが、既存施設で取組むことが可能。施設が一緒でないと実現できないのであれば、各種機能の内容について十分な検討がされているか不安。</p>
7-(2)	<p>各機能の連携強化のためプロジェクトチームによりその課題に取り組んでほしい。</p> <p>【内容】急ぐのは、各機能の連携強化であり、横断型のプロジェクトチームでその課題について取り組んでほしい。</p>
7-(3)	<p>建設の必要性や財政面など納得感のある計画立案を。</p> <p>【内容】建設の必要性についての説明には、必要性以外にも財政面でも飛躍が大きい。納得感のある計画立案を。市財政からの補填額については、計画として大きな補填金額になることもあり得ると思う。それを真正面に説明することも必要だと思う。そこで方向性の議論となり、賛成反対の議論が始まるのではないかと。現状では「説明をしてほしい」といったやり取りになってしまっているのが非常に残念。</p>
8	<p>新医療センター整備基本計画の早期実現を求める。</p> <p>【内容】市民の健康を守る拠点として水沢病院は、建設以来42年が経過。安心安全な医療施設を提供するために一日も早い改築が求められる。</p> <p>人口減少と高齢化の進行を理由として、この課題を先送りすることは市民の願いに背を向けることとなる。</p> <p>医師の確保、多大な建設費はみんなの心配事。しかし基本計画書にその財源が明記され、長期的な展望で医師の養成が展開され、市当局と市民が必死に「わが町への医師の呼び込み」を行い、それに応えてくれる医師がいる。</p> <p>水沢病院では、自治体病院として救急医療や感染症に対応し、軽度急性期から回復期の医療、在宅復帰への道のりを、基幹病院、民間医療機関、介護施設との連携の下に行なわれている。</p> <p>更に在宅医療、レスパイト入院の受け入れと今市民から入院ベッドのある水沢病院に「助けられた」という安心の声が、住民の意見交換の場が上がっている。</p> <p>建設費の縮減、その最大の要となるのは建設場所です。市の発展、交流の場との新たな視点にたつて、市有地である水沢公園への建設は奥州市の新しい宝としてみんな理解できるのではないかと。</p> <p>多様な補助金の確保と病院経営の健全化計画の実行、市財政からの応分の操出により新医療センターは建設可能。何より市民が命を守る政策を支持している為</p>

No.	意見（概要）
9-(1)	<p>一旦停止を。計画作成には第三者委員会（民間有識者、医師会等）からの意見を踏まえるべき。</p> <p>【内容】新医療センター建設は、一旦停止を提案する。理由は、医師会や市民からの意見や要望が具体的に計画に反映されず、医療局単独で作成されているため。民間有識者も加え、医療局、医師会等、第三者委員会を設けるべき。</p>
9-(2)	<p>市立医療施設は過剰職員の労働分配率上昇により赤字。持続可能な地域医療体制を整備すべき。</p> <p>【内容】5つの市立医療施設は、患者数減と医師不足に加え、過剰職員の労働分配率上昇により赤字経営になっている。地域医療体制を再構築し、持続可能な地域医療体制を整える。</p>
9-(3)	<p>新医療センター整備投資は、深堀したキャッシュフロー計算書の検討が必要。</p> <p>【内容】市の財政状態について、令和4年度版の連結貸借対照表から総資産4,543億円、純資産は2,968億円総資産の65.3%を占めている。財政状態は強固に見えるが、総資産に占める固定資産が4,290億円94.4%で、運転資金に相当する流動資産は252億円5.5%で異常に少ない。少なくとも総資産の10%は財政調整基金も含めて必要。結果的に総資産の殆どが固定資産で、中でもインフラ試算が2,853億円で保全が予測されるリスク資産と判断される。インフラ資産は国の政策も加味されるが、他県では地盤沈下等の事故も発生している。奥州市自体でも有事の対策が加味される。このような財政の状況下で、新医療センター整備投資は、深堀したキャッシュフロー計算書の検討が必要。</p>
9-(4)	<p>奥州市自体で複式簿記を採用し、財務諸表を作成すべき。</p> <p>【内容】デジタル化の時代において、会計システム開発が急務。奥州市自体で複式簿記採用し、遅くとも以下の資料が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和5年度連結貸借対照表 ②令和5年度の連結損益計算書 ③令和5年度のキャッシュフロー計算書
9-(5)	<p>市街地再整備には相当額の財政出動が予測される。</p> <p>【内容】新医療センター整備を含む市街地再整備は、水沢駅、商業施設、メイプル、水沢公園を一体とした、にぎわい創出計画。大店法により大型商業施設は郊外型になり、メイプルのメンテナンス料金も多額。水沢中心街に人を呼び戻すことは人口減少も加わり無理難題。以上のことから再整備には相当額の財政出動が予測される。コンパクトシティを取入れるのであれば、メイプルを取壊し高齢者と若者向けの憩いの場、休息の場としてミニ公園や映画館、ライブハウスを設けては？</p>
9-(6)	<p>今後、全ての運営事業の外部委託をやめてほしい。</p> <p>【内容】これから先、地元業者を主体にすべての運営事業は外部への委託はやめてほしい。具体策が見えて来ない。</p>

No.	意見（概要）
9-(7)	<p>将来、人口が減っても市税は減らないとの予測だが正確か。</p> <p>【内容】今後の奥州市予算だが、歳入に置いて市税は減収しないと言っているが</p> <ul style="list-style-type: none"> ①軽自動車税、国保税は高齢化により確実に減収する ②固定資産税が誘致企業によりある程度増加が見込まれる ③市民税は誘致企業により利益算出となれば法人市民税は増加する。 <p>※業績悪化となった場合、相当額減少。 ※歳入では市税が20%以上予測されているが、予測の正確性が重要視される。</p>
10	<p>安心した生活が送れるよう市民に寄り添った患者優先の病院、まちづくりを。</p> <p>【内容】水沢地域の個人病院について、以下のような対応の悪さが耳に入る。皆が安心して受診でき、正しい生活ができるよう指導してくれる、そして、新しい命を産み育てられる市であるべき。自分の立場だけを主張するより、自分達で自分を守れるような、まちづくりをしていくことが大切ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人を選んで診察する。患者に暴言を言う。 ②診療していないのにカルテに記載し、必要以上にお金を取る。 ③別な病気があると来るなど言われ、紹介状もらえず、見捨てられる。 ④女性の体を必要以上に触ったり、話しかけて来たり、無視すると次の診察はきちんと診てもらえない。その医療機器を持つ病院がそこだけだから通うしかないのに行けずに困っている人達が沢山いる。 ⑤県立病院は人数をこなすだけで、痛みを訴えても診ようもしない。 ⑥患者はお金を運んで来るとしか見ていないような病院が多い。
11	<p>水沢病院は市民にとってなくてはならない病院。ぜひ計画の前進を。</p> <p>【内容】長年主治医であった民間クリニックが次々と閉院し困っている。水沢病院は市民にとってなくてはならない病院。ぜひ計画を前に進めてほしい。期待している。</p>
12-(1)	<p>建設ありきで強引に進めているように見える。</p> <p>【内容】市民が期待している周産期医療や小児医療、脳外科領域での医療が安心して受けられる体制の病院であれば多少の赤字でも歓迎してもらえと思うが、それができないからと民間でもできる・やっているような内容を前面に出して、根拠がないとは言わないが、都合の良い数字を並べて作った収支案を見せられて大丈夫といわれても正直信用性に欠けると思うし、精査すべきことを色々置き去りにして建てることありきで強引に進めているように思える。</p>
12-(2)	<p>腹膜透析実施に必要な訪問看護ステーションの整備や人材確保が困難ではないか。</p> <p>【内容】腹膜透析は5年ぐらいで血液透析に移行することになるが、血液透析に切り替わったときのフォローはどうするのか。</p> <p>また、在宅における腹膜透析は、毎日行うことになり、特に高齢の方が行うには訪問看護を使う前提となると思うが、対応できるのか。</p> <p>現状では腹膜透析を伴う訪問看護は断られることも多いと聞いている。この地域では看護師不足で市内の看護学校を出てもここに残る人はほとんどおらず、市外県内外からくる看護師も多くないので必要とされる訪問看護ステーション数（訪問看護師数）を整備することは難しいと思われるが、どう対応していくのか。</p>

No.	意見（概要）
12-(3)	<p>地域包括医療病棟はクリアすべき施設基準がシビア。実現性が乏しい。</p> <p>【内容】地域包括医療病棟は高い点数は魅力的だが人員配置はともかく、在宅復帰率や平均在院日数などクリアすべき施設基準がシビアで、移行に踏み切れていない病院が多いが、将来的に新医療センターで本当にできると思っているのか。</p> <p>地域包括ケア病棟の稼働率はどのくらいなのか。病院経営において入院料は収入の多くを占めているので、移行できなければ収支も大きく変わってくるのではないかな。</p> <p>地域包括医療病棟と同等の実績が6か月なければ移行できないこともあり、すぐにペシャンコになるわけではないと動画でも説明されていたので、今の建物でも病床転換は可能であるので、実績をつくることができるかどうかやってみて、収支が問題ないか見極めてから建て替えの内容を検討しても遅くないのではないかな。</p>
12-(4)	<p>建替えを急ぐより、圏域内の病床や人員の融通を可能とする地域医療連携推進法人を設置し、地域包括ケアシステムを考慮した地域一体となる医療介護体制の構築を。</p> <p>【内容】腹膜透析や総合診療、回復期向けの病棟など新病院を建ててまで整備するものではない。公立病院や民間病院を中心に地域医療連携推進法人を設立できれば、医療圏内で限られた病床や人員を融通することができる。数年以内で地域医療連携推進法人を設置することができれば地域包括ケアシステムを考慮した地域一体となる医療介護体制を構築できる。</p> <p>2027年度の新地域医療構想によって新病院の医療機関機能が示される（変わる可能性がある）のであれば、急いで建て替える前に検討してはどうか。</p>
13-(1)	<p>規模を最小限に留め現病院を改築したらいいのではないかな。</p> <p>【内容】財政負担軽減のため規模を最小限に留め、不要建物を壊し、必要物件を建てる。市民1人の負担額はどのくらいかな。</p>
13-(2)	<p>小児科、婦人科を中心とした特殊専門病院とし、内科、外科は小規模に。</p> <p>【内容】当面の間、小児科、婦人科を主たる診療とし特殊専門病院とし定着させる。内科、外科は小規模とし本当に専門的確信ある診療のみとする。</p>
13-(3)	<p>医師会の意見を詳しく知りたい。</p> <p>【内容】医師会意見が通らないということが新聞からうかがえた。なぜなのか。医師会の意見を詳しく知りたい。</p>
13-(4)	<p>市は丁寧な説明をすと言っているが何が丁寧なのか。</p> <p>【内容】市は丁寧な説明をすと言っているが何が丁寧なのか。</p>
14	<p>早く建設するように。</p> <p>【内容】早く建設をするように。</p>

No.	意見（概要）
15	<p>新聞報道等から中止を心配。子供達が将来安心して受診できるようぜひ建設を。</p> <p>【内容】建設に賛成。昨年、自身の病気の経験から初めて胆沢病院が混雑していること、岩手医大の設備が非常に整っている事を知った。水沢病院が新しくなったら、明るい環境の中、最新機器が整うことにより患者が受診しやすくなり、胆沢病院の負担も減るのではないかと心配している。新聞等では、医師会などの反対意見が大きく取り上げられており、中心になるのではないかと心配している。現在の建物を改修するのでは、すぐに改修が必要になるだろう。奥州市の子供達、若者、老人が将来も安心して暮らせる医療のために、ぜひ建設してほしい。</p>
16-(1)	<p>民間医療機関が維持できるか疑問。民間にない役割を担う公立病院はインフラ。</p> <p>【内容】就職氷河期世代で、これまで就職難など目の前でハシゴを外される経験を幾度もして来たため、民間企業が信用できない。新医療センターは、民間医療機関が充実しているから不要との声を多く聞くことがあるが、今後も民間医療機関がこれまで通り維持できるのか疑問に感じている。公立には民間にはない役割があると思う。コロナ禍には市立病院が重要な役割を果たしたと聞いている。公共交通機関や水道と同じインフラ。新医療センターが果たす役割は大きいと感じている。</p>
16-(2)	<p>今後ますます建設費高騰の見込み。税収が比較的余裕のある今のうちに建設を。</p> <p>【内容】今後、建設費高騰や人手不足で建てたくても建てられない状況が発生するのではないかと心配している。市の税収は増加しているとのことだが、今後もその状況が続くのか心配している。税収が比較的余裕のある今のうちに建設しないと本当に必要な時に建てられないのではないかと強く感じる。将来世代に大きい負担をさせないよう、今のうちから投資をすべき。（十数年議論してきたとのことだが、時間をかけ過ぎている。当初の計画通り建設していれば、現計画よりも安価で環境の良い場所に建設できたのではないかと強く感じる。）</p>
16-(3)	<p>水沢公園の再整備を含めた新医療センター建設を強く望む。</p> <p>【内容】水沢公園陸上競技場は観客席もなく、設備も周辺の市の競技場と比較すると貧弱であると感じる。再整備するにしても現在地では手狭。新しい場所に設備の整った陸上競技場を新築すべき。水沢公園の再整備を含めた新医療センターの建設を強く望む。</p>
16-(4)	<p>全ての世代が安心して医療を受けられる、医療関係者が働きやすい環境の整備を。</p> <p>【内容】職場が奥州市なので移住を検討しているが、新医療センター建設がなかなか進まず移住に戸惑いを感じている。市民すべての世代が安心して医療を受けられる環境や医療関係者が仕事をしやすい環境を作れるよう、新医療センターが率先して理想的な職場のモデルを作っていただきたい。</p>
17	<p>水沢病院は市民の健康に寄与してきた。最低現機能のままの新病院でも意味はある。前向きな検討を願う。</p> <p>【内容】せっかく、整備場所も指定され水沢病院が新しくなる。やっとなんか、ここまで来て、あと少しという所で振り出しに戻れぬ意見が出ている。現計画に全面賛成ではないが、水沢病院はこれまで存在して市民の健康に寄与してきたはず。最低、現在ある機能のままでも新病院の意味はある。そして、そこからどのように住民の期待に応えるか議論していけばいいのではないかと強く感じる。一日も早く私達を安心させてほしい。前向きな検討を願う。</p>

No.	意見（概要）
18-(1)	院施設の早期整備を望む。 【内容】病院施設の早期整備を望みます。
18-(2)	産科設置の努力をしてほしい。 【内容】産科設置の努力をしてください。
18-(3)	緊急時にも対応可能な十分な病床を確保してほしい。 【内容】緊急時にも対応可能な十分な病床を確保してください。
19	包摂した医療を守る市政を取り戻すため、市は建設を決断し市民を安心させてほしい。 【内容】歴代市長はじめ関係者が水沢病院の維持・発展に注力してきたことを認め、奥州市民の「いのちと健康」を守る自らの病院を持つことが求められる。新医療センターをすぐ建設してほしい。市は決断し市民を安心させてほしい。市民を守る！いのちを守る！病院運営を市場原理に任せることに反対する。市民一人残さず、包摂した医療を守る市政を取り戻すため勇断を望む。
20	新医療センター整備計画は早急に実現されることを要望する。 【内容】新医療センター整備計画は早急に実現されるよう要望する。周産期医療の実現等、課題はあるが、市民にとって必要な医療を提供する事はとりわけ重要。コロナ禍を経験したからこそ未来に向けた市民の命と健康を守る拠点の整備が欠かせない。
21	市立病院の役割の第一は「市民の健康といのちを守ること」。早期に建設すべき 【内容】なるべく早く建設すべき。市立病院の役割の第一は「市民の健康といのちを守ること」。最近、県立病院の医療レベルの低下が著しいという情報を聞いた。多くの医療機関が選べ、自分が望む医療機関が選べ、信頼できる医療につながりたいと思うので、患者の立場、市民の立場で医療を考え実践できるよう教育も含めた市立病院ができることを早く望むばかり。
22	市立の総合病院は絶対必要。 【内容】市立の総合病院は絶対ほしい。
23	救急対応の継続と個人表示の高齢化に伴う圏域内の医療提供体制の水沢病院は必要。 【内容】救急外来が減らないように。個人病院医師の高齢化。
24	若い世代が安心して子供を産めるよう、産婦人科や小児科を設置してほしい。 【内容】若い世代が安心して子供を産めるよう、産婦人科や小児科を設置してほしい。設備が整った新医療センターは絶対に必要。
25	水沢病院の新設を望む。 【内容】ぜひ水沢病院新設をお願いしたい。
26	少子化、高齢化社会に備え、市立病院は絶対必要。 【内容】少子化、高齢化社会対策にしても、今後中心となる市立病院は絶対必要と考える。
27-(1)	最新の設備等を備えた新病院は人口増や医師確保につながるのではないかと。 【内容】新しい病棟と最新の高度医療機器を備えた病院は市のイメージが高まり、人口増や医師確保につながるのではないかと。
27-(2)	胆沢病院の負担軽減につながるのではないかと。 【内容】胆沢病院の負担軽減につながるのではないかと。

No.	意見（概要）
27-(3)	守りの行政ばかりではなく積極的施策も必要ではないか。未来志向。 【内容】守りの行政ばかりではなく積極的施策も必要。未来志向。
28-(1)	開業医は高齢化が進み地域医療の将来が不安。 【内容】開業医は高齢化が進み地域医療の将来が不安。
28-(2)	整備場所に反対。部活動で陸上競技場利用中の子供達はどこで活動したらよいのか。 【内容】整備場所に反対。理由は孫が部活動に利用しており、使えなくなるのは困るから。今後、部活動の外部委託と少子化が進むので、交通の便の良い公園内で子供達が活動できるようにしてあげたい。いま利用中の子供達はどこで活動したら良いのか。計画があるのなら教えてほしい。
28-(3)	財政面から建設は困難。胆沢や江刺病院との合併や連携について協議すべき。 【内容】水沢病院の赤字経営（全国的にも問題になっている）、高齢者への公費負担増、現役世代の減少による税収減、上下水道や道路等インフラ整備費用の増大など財政面から困難であると考え。また、同じ医療圏域である胆沢病院と江刺病院との合併や連携も協議されないまま計画のみが進行していることに恐怖すら感じる。孫や子供達に負担をかけたくない。後期高齢者になり運転に不安があるが交通の便が悪いため仕方なく車を運転している。必要なことに税金を使ってほしい。
28-(4)	コミュニティ施設に反対。子育て支援、産後ケアは既存施設の活用を。 【内容】子育て支援は、現在のメイプルや幼保園、今後は少子化で空き教室も増えるのでそちらを活用されたら良いと思う。産後ケアは需要があるとは言え少子化は進行しているので、民間のクリニックや既存の市の施設の活用で新しく建設する必要はないと考える。
28-(5)	水沢病院の職員、患者の命を優先すべき。他医療機関への転院など対応できるのでは。 【内容】現在、水沢病院に勤務されている職員の皆さま、患者さんの命を優先してほしい。まごころ病院の増床、胆沢病院や民間病院への出向や転院で対応できると思う
28-(6)	現計画の規模では訪問看護の機能強化は困難。加算の現在の利用状況を示してほしい。 【内容】在宅に力を入れる計画のようだが、1日20件の訪問看護では規模が小さく機能強化は無理ではないか。24時間緊急対応加算や特別管理加算の現在の利用状況を示してほしい。
28-(7)	プレコンセプションケアを市民に分かるように説明してほしい。 【内容】プレコンセプションケアについて市民に分かるように説明してほしい。始めの計画には見当たらない言葉な上、産婦人科医が不在だが、誰が実施するのか。
29	早期の総合病院建設を望む。老齢になって何カ所も通院するのは困難。 【内容】患者の立場としては早期に決めてほしい。老齢になって何カ所も通院するのは難しく本当に困っている。総合病院であれば一カ所で済む。そろそろ決断する時期ではないか。
30	市民の命を預かる市民病院建設をこれ以上先延ばしにせず早期実現を。 【内容】数日前にNHKのクローズアップ現代の番組で八戸市のみちのく記念病院での出来事が放送されていた。あまりにも人命を軽視するあきれた医師に愕然とした。奥州市でもこのようなことがあっては許される事ではないと思う。 市民の命を預かる市民病院として新医療センターの建設を強く望んでいる。これ以上先延ばしにせず早期に実現してほしい。

No.	意見（概要）
31-(1)	<p>緊急に小規模病院を新設するのがいいのではないか。</p> <p>【内容】産婦人科、小児科、精神科は必須条件。総合病院を見越して敷地、駐車場は広く確保し、年次計画で資金を積み立て10年後、15年後に総合病院へと拡充する。</p>
31-(2)	<p>緊急往診ができる体制の実現を。</p> <p>【内容】自宅静養希望の人生最後の老人たちを安心させてほしい。政府の山間僻地軽視の政策が中心部から離れた老人ほど医療不安を抱えている。これに温かい手を差し延べる。これが市立病院の役割でもある。</p>
31-(3)	<p>医療を金儲け、予算制約で考えないでほしい。</p> <p>【内容】医は命の保障。空気、水、食料と同様。国の方針の誤りを許すように考えず最大の努力をしてほしい。蘭方医 高野長英、医師 後藤新平が生まれた郷土に「市立の病院がない」これでは偉人のまちが泣く。先人に申し訳ない。現代の市の指導者たちよ、心して努力してほしい。</p>
32-(1)	<p>新医療センターを一刻も早く建設してほしい。</p> <p>【内容】早期設置に頑張ってもらいたい。</p>
32-(2)	<p>水沢公園周辺住民に公園再整備計画について理解を深めるための説明をすべき。</p> <p>【内容】反対意見は水沢以外の方の方が多いのではないか。水沢南地区の方には、水沢公園運動施設がなくなることによる不安があるのではないか。水沢公園の再整備計画を丁寧に説明し、不安・不満を解消してほしい。</p>
32-(3)	<p>医師確保の努力と市長が先頭に立って医師会への協力や県への要請にも尽力を。</p> <p>【内容】新医療センターの資金収支シミュレーションが甘い等の批判が、特に医療関係者等から出されている。去る12月3日、日本医師会をはじめ6病院団体が新年度の診療報酬改定に向けて改善の合同声明を出したとのこと。このような医療政策のもとだが医師確保の努力と、市長が先頭に立って奥州医師会への協力や県への要請にも力を入れてほしい。</p>
32-(4)	<p>東北医科薬科大学との連携は期待されているということではないか。</p> <p>【内容】市と提携している東北医科薬科大学に対して「実績がない。」との意見が出されたが、国が認可したということは期待されているということではないか。</p>
32-(5)	<p>公立病院の勤務医である県立病院の医師が建設に反対しているのが非常に残念。</p> <p>【内容】残念なのは、公立病院の勤務医である県立病院の医師が、新医療センター建設に反対していること。県立病院の多くが赤字で県医療局でも大まかな赤字であることは分からないのかと思う。</p>
33-(1)	<p>市民説明会等で意見統一が図れなかった最大の理由は、市長が説明会を欠席したことで市民の不信を招いたことにあるのではないか。</p> <p>【内容】市民説明会等で意見統一が図れなかった最大の理由は、市長が説明会を欠席したことで市民の不信を招いたことにあるのではないか。奥州市政の全責任は市長にあり、周産期医療の奥州市モデルの構築を最大の公約に掲げた倉成市長は、その責任の重さを当選者として深く、重く受け止めるべきではないか。その最大の公約が実現出来ないと確信した時点で辞職し、新たな公約を提示して改選に臨むべきだったのではないか。</p>

No.	意見（概要）
33-(2)	<p>医師確保に最大の努力を払ってほしい。</p> <p>【内容】各大学は、研究費の捻出に頭を悩ましており、研究費（相当多額）の市の拠出は、医師確保の有効な手段（信頼構築が前提だが）となり得るのではないかと。改めて医師確保に最大の努力を払っていただきたい。</p>
33-(3)	<p>診療科を絞り込まず医師確保の状況に併せ多様な科を新設する努力が必要。</p> <p>【内容】新医療センターの全体像については、計画の詳細が不明だが良く出来ていると思う。ただ、急性期医療（高度な）に特化することは市の財政上も無理な現実があり、1次・2次医療に徹することが前提になることから診療科を初めから絞り込まないで医師確保の進捗に併せて多様な科を新設する努力が必要と思う。</p>
33-(4)	<p>在宅医療の必要性高い。介護と併せて訪問診療等の分野の強化を図るべき。</p> <p>【内容】忘れてはならないことは地域医療の分野で在宅医療の必要性が高いという現実がある。介護と併せて訪問診療・訪問看護が求められていることからその分野の強化を図るべき。市民のかゆい所に手を届かせるようなきめ細やかな対応も市民が望んでいる市民病院のあり方のヒントになると考える。</p>
33-(5)	<p>出産から育児、子どもの教育・医療の分野を疎かにしてはならない。</p> <p>【内容】妊婦をかかえた夫婦が北上に移住したというニュースに愕然とした。高齢者医療も大切だが、「出産から育児、子どもの教育・医療」という分野を疎かにするわけにはいかないと思う。あきらめずになお一層の懸命な努力を願いたい。新医療センター構想にこのことが入らないのでは、画餅に期したも同然であり、改めて高く掲げることを望む。現市政の生命線であるからである。</p>
33-(6)	<p>病床利用の需要は多いため80床では少ない。緩和ケア病棟の検討もすべき。</p> <p>【内容】病床数については、80床では少ないと思う。在宅医療等に伴う一時入院、慢性患者の受入れなどの需要は多いと思うので、そのような対応、緩和ケア病棟の検討なども加えてほしい。</p>
34-(1)	<p>時代に即した病院への転換は必要不可欠。</p> <p>【内容】今や介護保険施設もスタッフ不足（特に看護職等）になっている。入所施設も空きがない。ショートステイ先も常連利用者へ入所困難のイメージ。</p>
34-(2)	<p>在宅介護を目指す家族のための在宅医療、リハビリ、レスパイト入院強化を。</p> <p>【内容】在宅介護を目指している家族への在宅医療、リハビリ、レスパイト入院等の強化を希望。（多機能）</p>
34-(3)	<p>医師不足については、今後も永遠の課題だと思う。</p> <p>【内容】20年前位から問題視されていたが、医師不足については、これから先も永遠の課題だとおもう。</p>
34-(4)	<p>医師会の先生方には対論だけでなく前向きなアドバイスを期待している。</p> <p>【内容】医師会の先生方も地域医療を支えている貴重な存在ゆえ、反対論だけでなく前向きなアドバイスを期待したい。</p>
34-(5)	<p>狭い駐車場は受診意欲の低下を招くのではないかと。</p> <p>【内容】狭い駐車場は受診意欲の低下を招く。</p>
34-(6)	<p>胆沢病院の外来は非常に混雑。小規模でも自然に囲まれた新病院の建設を望む。</p> <p>【内容】胆沢病院の午前の外来風景は通路もあふれんばかりの混雑ぶり。役割分担の考察。ベッド数が少なくても緑が豊かな自然に囲まれた新病院の建設を望む。</p>

No.	意見（概要）
35-(1)	<p>県立病院の統廃合を考慮した計画にすべき。</p> <p>【内容】医療センターをつくるに際し、全岩手県立病院の経営状態を分析することが大切だが、どこまで把握しているのだろうか。全国的に統廃合が進められている。統廃合の計画はないのではなく、県知事がこれを言い出すと、次の選挙で不利になるということで明示していないだけ。岩手県に県立病院が多いのは、戦後に無医地区が多かったために、仕方なしに建設したため。今は時代が違う。県立病院の統廃合を考慮した計画に作り直すべきです。</p>
35-(2)	<p>多くの女性が建設に賛成しているのは将来産科設置が叶うと誤解しているから。</p> <p>【内容】お産施設が岩手県全体、いや全国的に問題になっている。多くの女性市民が新医療センターの建設に賛成しているのは、今すぐには無理であっても、数年以内には産科医も赴任し、お産の施設になるという誤解をしているから。これは数人の女性に確認している。市長は奨学生制度もあり、産科医希望者も増えるというようにとれる発言をしているが、産科医が1人赴任しても診療の継続は不可能。助産師もかなりの数の採用が不可欠になる。それと、現在計画の新医療センターの設計には産科施設を増改築で整備可能にするという設計ではないと思う。</p>
35-(3)	<p>江刺病院は胆沢病院との統合を進め、その江刺病院を市が譲り受けるのはどうか</p> <p>【内容】県立江刺病院は岩手県で確か4番目に赤字額が多いと思う。実際江刺病院の勤務者に聞いたことがある。内部でもいつまで継続できるのか不安で働いているとのこと。江刺病院が胆沢病院と統廃合することになれば、江刺地区には総合病院はなくなることになる。そのためにも、もし建築するにしても私は水沢公園に新築することには大反対である。江刺病院の胆沢病院との統合を進め、その江刺病院を奥州市が譲ってもらい、奥州市民病院として改変し、しばらく使うことをおすすめする。胆沢病院に移ることを希望しないスタッフは奥州市民病院で再雇用しても良いのではないか。</p>
35-(4)	<p>江刺総合支所の空きフロアを活用し地域医療連携システムを設置してはどうか。</p> <p>【内容】現在、市役所の江刺支所は確か、2フロアほどが未使用のはず。地域医療連携システムは、コンピューターを使った事務仕事为主体になる。江刺支所の空いているフロアに開設すれば、わざわざ水沢公園を潰して高額投資をする必要はないと思う。江刺病院が奥州市民病院となれば、隣接しており遠隔医療支援システムなどを含め何かと連携し易くなるはず。</p>
35-(5)	<p>反対意見は少数なら統計的に無視しても良いという市長の発言の真意を伺いたい。</p> <p>【内容】市長の発言に理解できない点が多数ある。その中で一つだけどうしても言いたいことがある。反対意見は数が少なければ、統計的に無視しても良いような発言をしているが、その真意を伺いたい。100の同じ意見があっても、たった1つの意見が本当は正しいと言うことは少なくない。このような発言は、市民の意見は聞く耳はないと言っていることにならないか。言っても仕方がないと思いつつも、パブリックコメントを書かせていただいた。</p>
35-(6)	<p>計画通り実現出来なかった場合、賛成者はどのような責任を取るのか。</p> <p>【内容】この計画が計画通りにできなかった場合（個人的には絶対無理だと思うが）、賛成者はどのような責任を取るのか。</p>

No.	意見（概要）
36	<p>早期の建設こそ市民の生命と健康を守る課題に応えることになる。</p> <p>【内容】新医療センターの早期移転新築を要望する。水沢病院の老朽化は激しく、大規模改修を行ったところで、すぐまた修繕を繰り返さなければならないということは目に見えている。安心して医療を受けられる環境の施設こそ奥州市民が求めているものであり、その早期の建設こそ市民の生命と健康を守る課題に応えるものだと思う。行政として早急に取り組むべき課題ではないか。</p>
37	<p>小児科の充実、将来的には分娩機能設置も検討を。子ども達の未来に欠かせない医療体制である新医療センター整備を前に進めてほしい。</p> <p>【内容】数年前、感染症の疑いで水沢病院に救急搬送された。中等症以下の救急受け入れ体制は必要だ。子育て中の世代としては、小児科の充実、出産ができる体制もぜひ考えてほしい。今難しくとも将来的に若い世代の移住定住策、子育て支援の面からも必要。全国的に赤字経営の病院が7割ほどになっている今、いつ病院がなくなるか分からない不安と隣り合わせ。そんな中、公立病院の役割は重要。高齢者はもちろんのこと、子ども達の未来になくてはならない医療体制、新医療センター整備を前に進めてほしい。</p>